



楽しい食事の一幕

入所者様が楽しみにしている一つが毎日の食事だと思います。「ここのご飯は本当においしい！」との声も多く聞かれます。当苑の充実した食事の一幕をご覧ください。

ふたばよもやま話 (第三十一回)

～鷲峰公園平和観音像～

北九州市小倉南区鷲峰公園に白亜の大観音像がありますが、一度は目にしたことのある人が多くいるのではないのでしょうか。

鷲峰山平和観音像は昭和41年5月16日竣工。平和を願って有志の寄付で建設されたと、当時のお金で700万円以上の寄付が集まったと書かれています。

終戦直前の空襲で亡くなった市民の霊をはじめ、戦争で犠牲になったすべての人々の霊を慰めるために高さ17mの平和観音像が造られたのは鷲峰山山頂で、ここはかつて蒲生城(虹(にじ)山城)跡で、太平洋戦争のみならず戦国の昔から戦いの犠牲となった人たちの霊を弔う意味もあったのかもしれません。

ちなみに公園内には当時の満州に派遣された部隊の慰霊碑もあり、平和の大切さ、現在の平和はたくさんの人たちの犠牲の上に成り立っているという事実を忘れてはいけない場所となっています。

山頂からは小倉市街が一望のもとに見渡せ、特に桜の時期は市民の憩いの場となっています。



鷲峰山の由来

資料によると鷲峰山、別名、霊鷲山とある。霊鷲山はお釈迦様が仏法を説いた浄土にある山と言われ、古くから信仰の対象になっていた霊山であったことがうかがえる。

山頂からは小倉の市街地が一望のもとに見渡せる。



職員紹介コーナー
8月より、前任者の退職を受け、介護職員(グループリーダー)から生活相談員へ異動となった、荒牧崇雄さんの紹介です。
荒牧さんは、類まれな行動力と豊富な知識の持ち主で、「ご利用者様・ご家族様・職員にいろいろな話題を持ち掛け、常に温かく優しい気持ちで接しています。介護現場では、自分の考えをはっきりと伝え、頭の回転が速く知恵もあり、リーダーシップを発揮していました。今後は生活相談員として、本人曰く「辛い所に手が届く相談員」をモットーに、ご利用者様・ご家族様からの生活全般に関する相談に応じ、適切なアドバイスや支援を行ってまいります。今後とも宜しくお願いいたします。



万が一の事態に備え、訓練を怠ることはありません。

専門家の指導の下、器具の使い方も学びます。



今月の予定 (9月)

石橋医院回診 (毎月曜日)

1日、8日、22日、29日

ますゆき皮膚科回診

4日(木)

小倉北歯科回診 (毎火・木曜日)

2日、4日、9日、11日、16日、18日、25日、30日

ビューティヘルパー

8日(月)

夏まつり

12日(金)

【編集雑記】▼9月1日は、防災の日である。大正12年に発生した関東大震災がきっかけだが、昭和34年9月26日に発生した戦後最大の被害をもたらした伊勢湾台風も防災の日制定に関与しているといわれている。台風と言え、平成3年9月に来襲、北九州地方に甚大な被害をもたらした台風19号もあり、まさに防災の月である▼台風は現代科学や観測網の整備によりある程度予測はつくものの、全く予期しない時、突然襲ってくるのが地震である。昔から「地震・カミナリ・火事・親父」という言葉がある。今の世の中、親父の権威はかつて比べると失墜し、火事は建築様式の発達や防火の取り組みで、江戸の昔に比べると被害は減少しつつある。しかし相変わらず地震は予測もできず、怖いもののトップであることは間違いないだろう▼近年、南海トラフ地震の危険性がクローズアップされている。地震の発生を防ぐことはできないが、減災はもちろん可能である▼地震とはあまり縁のない北九州地方と云われていたが、近年その神話は崩れつつある。南海トラフはもちろんだが、小倉北区から南区にかけ「小倉東断層」という断層帯の存在が確認されている。国道322、あるいは日田彦山線のラインと考えていい。むやみに恐れる必要はないが、もしもの時介護職員として利用者様の安全を確保すること、さらには自分自身を守ることは考えておかなければいけない事だろう。日頃の訓練、そして心構えは必要である。